

# 稲作情報 No.1

〔水稻育苗管理、大麦防除〕

水田農業レベルアップ委員会技術普及部会（農業試験場、生産振興課、JA経済連、主要農作物振興協会）

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/inasaku/inasaku.html>

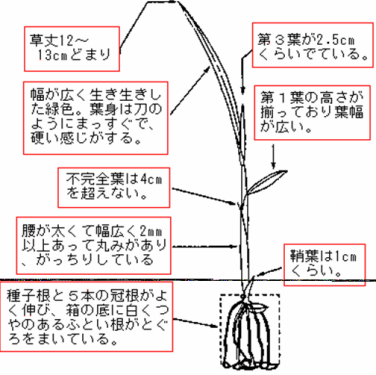
- ・向こう1カ月の気象は、天気は数日の周期で変わり平年に比べ晴れの日が少なめで、特に今週は最高気温・最低気温がともに平年並か平年より低い日が多いです。**水稻育苗ハウス内の温度管理に注意しましょう。**
- ・大麦の出穂期は昨年よりやや遅く平年よりやや早いと見込まれるが、今後の生育を観察し、適期に赤かび病防除を行いましょう。

## 大麦

- ・草丈は昨年よりやや長いが概ね平年並み。茎数は一部の地域で多い傾向だが全体としては昨年より少なく概ね平年並み。葉色は昨年よりやや濃い。
- ・幼穂7ミリ期は平年より1日程度早く昨年よりやや遅い傾向。

作業	作業の注意点									
赤かび病防除	<p>【防除時期、薬剤】</p> <table border="1" data-bbox="644 786 1908 968"> <thead> <tr> <th data-bbox="644 786 795 843"></th> <th data-bbox="795 786 1141 843">時期</th> <th data-bbox="1141 786 1908 843">薬剤、使用量、使用時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="644 843 795 901">1回目</td> <td data-bbox="795 843 1141 901">開花期(出穂期の5日後)</td> <td data-bbox="1141 843 1908 901">トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫14日前</td> </tr> <tr> <td data-bbox="644 901 795 968">2回目</td> <td data-bbox="795 901 1141 968">1回目の7～10日後</td> <td data-bbox="1141 901 1908 968">(上記以外にも適用薬剤はあります。病害虫防除だよりを参照。)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出穂後、開花期に平均気温が15℃以上で降雨が続くときに多発する。被害粒混入限度0.0%を超えると出荷できない。</li> <li>・ 出穂状況を確認し遅れないように適期防除に努める。同一成分の薬剤連用は避ける。使用時期（収穫前日数）にも注意する。</li> <li>・ 詳細は病害虫防除だよりNo. 285を参照。 (<a href="http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo_d/fil/bouz285.pdf">http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo_d/fil/bouz285.pdf</a>)</li> </ul>		時期	薬剤、使用量、使用時期	1回目	開花期(出穂期の5日後)	トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫14日前	2回目	1回目の7～10日後	(上記以外にも適用薬剤はあります。病害虫防除だよりを参照。)
	時期	薬剤、使用量、使用時期								
1回目	開花期(出穂期の5日後)	トップジンM粉剤DL 4kg/10a 収穫14日前 ワークアップ粉剤DL 3kg/10a 収穫14日前								
2回目	1回目の7～10日後	(上記以外にも適用薬剤はあります。病害虫防除だよりを参照。)								
排水溝の手直し 雑草対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溝の中の土さらいなど、排水溝から雨水が速やかに排出できるように手直しを行う。</li> <li>・ 水稻作の準備に向け用水への通水が始まったときは隣接水田等からの浸水の有無を確認する。</li> <li>・ 圃場周辺を見回りカラスノエンドウを抜き取る。大きくなると麦に絡みついて取りにくくなるので、目立つ前に除草する。</li> </ul> <div data-bbox="1757 1193 1970 1333" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="1773 1336 1935 1360">カラスノエンドウ</p>									

# 水稲

作業	作業の注意点																	
浸種～催芽 【コシヒカリ】	<b>【種子消毒】</b> ・種子消毒等が必要な場合は、防除基準や防除指針を参考に種子消毒を行う。 <b>【浸種】</b> ・水温と日数に注意して吸水の不十分や吸水ムラを防止し、催芽で齊一な鳩胸状態を目指す。処理薬剤の効果低下を防ぐため、 <u>浸種開始後3日間は水を換えない</u> 。その後は必要に応じて水を換える。 ・浸種開始時には水温は15℃程度を確保し、そのときに10℃よりも低い水温とならないように注意する。 ・浸種が終わりに近づいたら籾の様子をよく観察し、吸水ムラになっていないか確認する。 <b>【催芽】</b> ・催芽温度は30～32℃。鳩胸状態で揃える。芽や根を伸ばし過ぎると播種時に種子が引っかかり均等に播種できない。	<table border="1"> <tr> <th>水温(℃)</th> <th>浸種日数の目安</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>10日</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7～8日</td> </tr> </table>	水温(℃)	浸種日数の目安	10	10日	15	7～8日										
水温(℃)	浸種日数の目安																	
10	10日																	
15	7～8日																	
播種～出芽 【コシヒカリ】	<b>【施肥量】</b> ・一箱当たりの施肥窒素量を4月育苗の1.5g/箱から減らして1g/箱程度とする。 <b>【播種】</b> ・播種量は4月育苗より10%程度増量して一箱当たり14.1g程度(籾千粒重27.5gの場合)とする。 <b>【出芽】</b> ・出芽温度は30～32℃。出芽期間は2～3日。芽を伸ばしすぎないように注意する。																	
緑化 【ハナエチゼン】	<b>【緑化】</b> ・出芽苗を育苗ハウスに並べる。苗箱の上に被覆資材を掛け、急に強い光が当たらないようにして白化苗発生を防止する。苗が黄色～黄緑色となったら被覆資材を外す。被覆資材を掛け放しにして苗を焼かないように注意する。 ・育苗ハウスに苗箱を出したとき、あるいは、被覆資材を外した後、箱の土が乾いていれば灌水する。																	
硬化、馴化 【ハナエチゼン】	<b>【温度管理】</b> <table border="1" data-bbox="416 786 1578 972"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>昼間</th> <th>夜間</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑化</td> <td>20～25℃</td> <td>15～20℃</td> <td>10℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>硬化</td> <td>15～20℃</td> <td>10～15℃</td> <td>5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> <tr> <td>馴化</td> <td colspan="3">移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない</td> </tr> </tbody> </table> <ul data-bbox="395 986 1578 1388" style="list-style-type: none"> <li>・低温が予想される時はストーブをたくなどして保温する。夜間に被覆資材をかけた後、翌朝低温の心配がなくなった時は忘れず外す。好天時の被覆は葉焼けの原因となる。</li> <li>・育苗ハウス内で生育差が大きい場合は育苗箱の位置を入れ替える。育苗箱の底面とハウスの床面に隙間があると生育差が出るので予め平らにしておく。</li> </ul> <b>【灌水、馴化】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝、葉先に露を持っている場合は灌水しない。露が見えない時や育苗箱の縁の土が白く乾いている時は灌水する。</li> <li>・灌水は晴れた日の午前中に行い1回でたっぷりとやる。午後3時以降はなるべく行わない。</li> <li>・移植3日前頃からハウスの横面のビニールを大きく開けて苗を外気にならず。霜が降りる日はやめる。</li> </ul> <b>【移植前の薬剤苗箱処理】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本田での病害虫防除のために、薬剤苗箱処理を行う場合は防除基準を守る。</li> <li>・水稲育苗後に育苗ハウスを利用して別の作物を栽培する場合は、跡作に苗箱処理薬剤の影響を出さないように注意する。</li> </ul>	時期	昼間	夜間	備考	緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない	硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない	馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない			 <p data-bbox="1701 1208 1939 1258">目標とする稚苗の姿 (星川氏原図から作成)</p>
時期	昼間	夜間	備考															
緑化	20～25℃	15～20℃	10℃以下、32℃以上にしない															
硬化	15～20℃	10～15℃	5℃以下、32℃以上にしない															
馴化	移植3日前頃から強風や低温時以外は外気にならず、5℃以下、32℃以上にしない																	

作業	作業の注意点										
硬化、馴化	<p>【換気】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>育苗期間の平均気温は17℃と4月育苗と比べて3℃程度高い。苗の徒長を防ぐため、ハウス内の気温が25℃以上にならないよう換気する。30℃以上にはしない。</li> <li>最低気温が10℃以下や強風時以外は夜間もハウスの側面の部分を開放する。</li> </ul> <p>【灌水】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夜間の気温が高く床土が高水分だと苗が徒長するので午後3時以降は灌水を控える。</li> <li>高温で日射量が多いと床土が乾燥しやすい。晴天が1日続く日は朝昼2回十分に灌水する。灌水量の目安は500ml/箱。</li> <li>根張りが悪くなるのを防ぐため、曇雨天の日は極力灌水を行わない。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>苗の葉齢</th> <th>晴天</th> <th>曇雨天</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.0～1.3葉</td> <td>朝1回(高温乾燥時は昼も行う)</td> <td>行わない</td> </tr> <tr> <td>1.3葉以上</td> <td>朝、昼の2回</td> <td>朝1回(または行わない)</td> </tr> </tbody> </table> <p>【移植前の薬剤苗箱処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本田での病害虫防除のために、薬剤苗箱処理を行う場合は防除基準を守る。</li> <li>水稻育苗後に育苗ハウスを利用して別の作物を栽培する場合は、跡作に苗箱処理薬剤の影響を出さないように注意する。</li> </ul>		苗の葉齢	晴天	曇雨天	1.0～1.3葉	朝1回(高温乾燥時は昼も行う)	行わない	1.3葉以上	朝、昼の2回	朝1回(または行わない)
苗の葉齢	晴天	曇雨天									
1.0～1.3葉	朝1回(高温乾燥時は昼も行う)	行わない									
1.3葉以上	朝、昼の2回	朝1回(または行わない)									

### 【天気予報】

4月6日5時発表

日付	6月	7火	8水	9木	10金	11土	12日	
福井県	曇時々雨 	曇のち晴 	曇 	曇時々晴 	曇 	曇 	曇時々晴 	
降水確率(%)	~/50/90/80	40/20/10/0	30	30	40	40	30	
信頼度	/	/	B	C	C	B	B	
福井	最高(℃)	14	11	13 (11~16)	16 (13~19)	15 (13~18)	16 (12~19)	18 (15~21)
	最低(℃)	/	7	2 (-1~3)	5 (3~7)	8 (6~10)	7 (5~9)	4 (1~8)

気象庁 気象統計情報(各種観測データ)  
<http://www.jma.go.jp/jma/menu/report.html>

### 【メールマガジン e農メール】

福井県内の農業者や農業関係者の皆さまに、稲作情報をホームページに掲載したことを速やかにお知らせするため、携帯電話向けの「e農メール(いーのうめーる)」を配信しています。  
 配信を希望される方は、お手数ですが福井県が運営する「eマガふくい」からご登録をお願いします。(福井県メールマガジン利用規約をご確認ください。)  
 なお、登録および情報料は無料ですが、パケット通信料は各自でご負担いただくこととなりますので予めご了承ください。

e農メールの登録については、こちらをご覧ください。  
[http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a\\_mail.html](http://www.agri-net.pref.fukui.lg.jp/a_mail.html)



携帯電話ではQRコードで簡単アクセス

【現地の大麦の生育状況(越冬後の生育)】

品種:ファイバースノウ

	地区	福井	坂井	奥越	丹南 (南越) (丹生)		二州	若狭	県全体
	調査日 (下段は昨年)	3/7 (3/6)	2/22 (2/19)	3/25 (3/1)	2/24 (2/20)	3/5 (2/20)	2/18 (2/20)	2/24 (2/20)	3/2 (2/23)
草丈 (cm)	本年	17.2	12.4	13.2	20.3	20.6	18.3	19.7	17.4
	昨年	18.2	15.4	14.3	15.0	13.7	13.4	11.8	14.5
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	本年	544	455	397	754	615	537	733	576
	昨年	596	724	525	577	542	920	500	626
葉色 (SPAD)	本年	43.9	50.5	38.8	40.4	45.6	42.6	50.0	44.5
	昨年	44.3	48.2	43.2	46.7	43.0	44.4	48.0	43.2
幼穂7ミリ期	本年	3/16	3/18		3/28	3/27	3/11	3/18	3/19
	昨年	3/16	3/13		3/29	3/22	3/12	3/15	3/17

奥越は融雪が遅れた。

地区ごとの調査数、調査場所は年度ごとに変動がある。

